

2019年 7月24日(水)

有明新報 (2面)

人工知能で水やり予測

有村さん 学会で奨励賞

有明高専

大牟田市東萩尾町の有明工業高等専門学校専攻科生産情報システム工学専攻1年、有村知将さん

(21)が広島県で開かれた学会で奨励賞を受賞した。農地に設置したセンサーのデータを解析し、適切な水やりの時期などを予測するシステム開発に向けた研究が認められた。有村さんは「とてもうれしい。今後の研究の弾みになります」と意欲を高めた。

情報電子回路研究室「I Cラボ」のメンバー。同校では畑の水分量などをセンサーで測定するシステムをIIT企業、セラクと共同研究しており、この測定データを活用した。同校創造工学科の准教授、石川洋平さ

今回、参加したのは照明学会中国支部が主催する第9回電子デバイス・回路・照明・システム関連教育・研究ワークショップ。5月に行われ、高校生から大学院生まで12件の発表があった。有村さんはこれまでの研究成果を発表し、今回のデータ以外

有村さんは「農業のベテランは経験で適切な水やりの時期などが分かるが、研究を進めていくことで、経験の少ない新規就農者のサポートにつながり、収量アップにも貢献できる」とし、現在もデータを追加して研究中。「将来は人の仕事をサポートする人工知能の開発に携わりたいです」と目を輝かせた。

(矢野 大輔)



農業支援へ研究を進める有村さん